

建設従事者を助け、育てる予算を

7・8対都 要請行動

7月8日、全建設連東京都連は2022年度東京都予算要求の要請行動を実施しました。昨年に引き続き、コロナ対策で都庁前での集会は開催せず、都連役員を中心に都庁内の交渉のみを行いました。その概要をお伝えします。

福保局 国保組合支援は使命

コロナの影響を注視する

【本部・末浪明子記】福祉 はじめに、兵頭都連社保対保健局国保課への交渉は、代 副部長から上野国保課長に要請書と都議賛同署名を手渡した。要請の概要は、①建設国保に対する都費補助金の医療費増高分を含む現行水準確保、②特定健診・特定保健指導に対する都費補助の拡充と、建設国保が実施するがん対策事業への財政支援の拡充、③建設国保組合の育成・強化です。



福祉保健局との交渉

その後、田村都連社保対し、その後、田村都連社保対副部長が要請趣旨を説明しました。要請の概要は、①建設国保に対する都費補助金の医療費増高分を含む現行水準確保、②特定健診・特定保健指導に対する都費補助の拡充と、建設国保が実施するがん対策事業への財政支援の拡充、③建設国保組合の育成・強化です。

都整局 制度周知で前進



都市整備局との交渉

【本部・山下正徳記】都市整備局・住宅政策本部交渉は、栗橋都連理事対策部長を含め7人で行ないました(東京都側は11人)。今回はコロナ感染対策で都側の参加者を前半・後半に分けて対応してもらおう、工夫がされました。要請項目については4つに絞り、なかでも「コロナウイルスの影響によるウッドショックから起こった輸入木材不足に對しての国内材対策」について、地域建設産業育成の観点で多くの意見交換がす

【本部・村松加代子記】産業労働局、財務局、総務局、都市整備局、建設局交渉は、中村都連賛対部長、山本都連とも「コロナ禍における増高を見込み予算を編成するよう要請。上野国保課長は、医療費の動向に注視し、適切な水準の補助となるよう努力をしたい」と回答しました。参加者からは、アスベスト訴訟の最高裁判決と被害者補償制度の法制化について説明し、今後増え続ける被害者の救済には早期発見・早期治療が重要であり、そのためにもマン対策事業に対する都の財政支援制度の創設が急務だと訴えました。また、春の拡大月間での活動を通して明らかになったコロナ禍における仲間の厳しい暮らし・仕事の実態を報告し、仲間の窮状を救うためにも建設国保への補助金は重要だと訴えました。

事業者へのコロナの影響 把握と対応求める

主税局

主税局長は、都税務所にどれだけ相談しているか、また都税の滞納件数について回答を求めました。税対部長は、相対件数は集約できていないが納税猶予の相談が増えている、滞納件数は昨年の数字が税務統計年報で12月に報告される予定だと回答がありました。また償却資産などに係る固定資産税等の軽減措置の申請件数について5万4000件の申請があったとの回答に対し、想定と比べてどうなのかと質問したところ、少ないと思うが、必要な人は申請したのではないかと回答しました。

格差社会が進行しているもとで消費税は下げるべきであり国へ引き下げを提言してほしいという要請には、都としては言いづらいと回答し、金融所得課税などを引き上げる議論はあるといった税制の動向を紹介したのでした。

産労局 240社に調査実施も 下請にふみ込まず

【本部・村松加代子記】産業労働局、財務局、総務局、都市整備局、建設局交渉は、中村都連賛対部長、山本都連とも「コロナ禍における仲間の厳しい暮らし・仕事の実態を報告し、仲間の窮状を救うためにも建設国保への補助金は重要だと訴えました。」

【本部・村松加代子記】産業労働局、財務局、総務局、都市整備局、建設局交渉は、中村都連賛対部長、山本都連とも「コロナ禍における仲間の厳しい暮らし・仕事の実態を報告し、仲間の窮状を救うためにも建設国保への補助金は重要だと訴えました。」

【本部・村松加代子記】産業労働局、財務局、総務局、都市整備局、建設局交渉は、中村都連賛対部長、山本都連とも「コロナ禍における仲間の厳しい暮らし・仕事の実態を報告し、仲間の窮状を救うためにも建設国保への補助金は重要だと訴えました。」

産業労働局との交渉



【本部・村松加代子記】産業労働局、財務局、総務局、都市整備局、建設局交渉は、中村都連賛対部長、山本都連とも「コロナ禍における仲間の厳しい暮らし・仕事の実態を報告し、仲間の窮状を救うためにも建設国保への補助金は重要だと訴えました。」

詰将棋の解答

- ▲2一歩成△同玉▲3三角△1一玉▲1一角成△同玉▲3三馬△2二合▲2三桂△1二玉▲2四桂まで11手詰。